令和４年（2022 年）版
（1 月～12 月）

消　防　活　動　速　報

内　容

１．　１１９番通報概要
２．　火　災　概　要
３．　救　助　概　要
４．　救　急　概　要

1.　119番通報概要

１　１１９番通報受信件数

１１９番通報は５，０９４件で、令和３年中の４，２９０件と比較して８０４件増加しました。（１日平均約１４件）

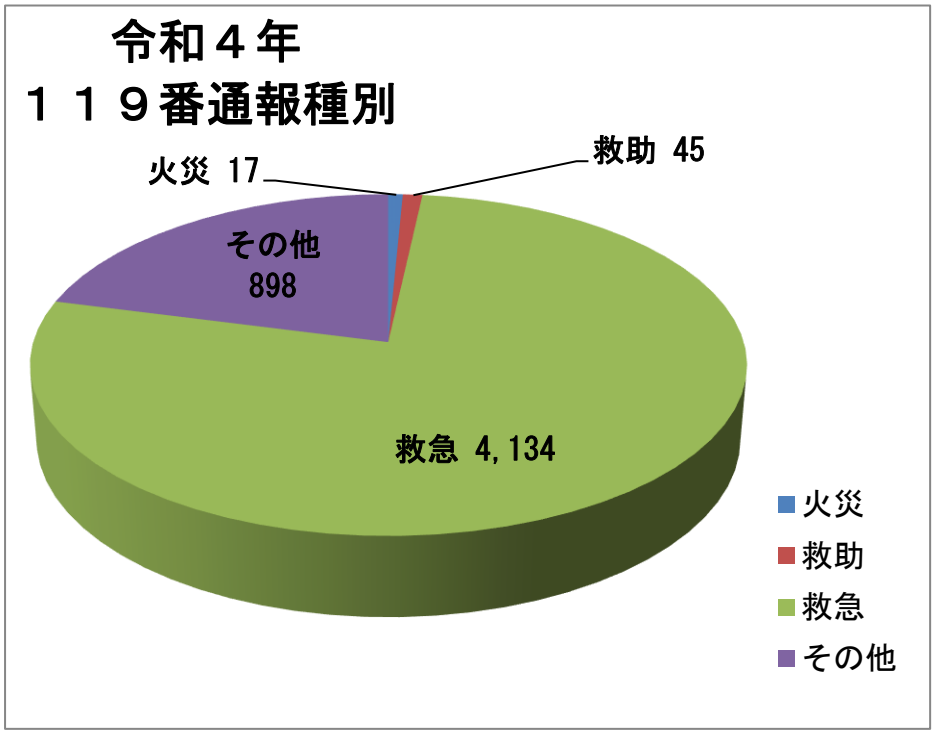
２　１１９番通報種別

通報種別による受付件数は「救急」が４，１３４件で、全体の８１％を占めており、令和３年中の３，３１５件と比較して８１９件増加しました。次いで「救助」が４５件、「火災」が１７件の順となっています。

〔通報種別〕　（単位：件）

	火　災	救　助	救　急	その他	合　計
令和３年	32	43	3,315	900	4,290
令和４年	17	45	4,134	898	5,094
比　較	－15	＋2	＋819	－2	＋804

（１件の災害において、複数件の通報がある場合が有り）



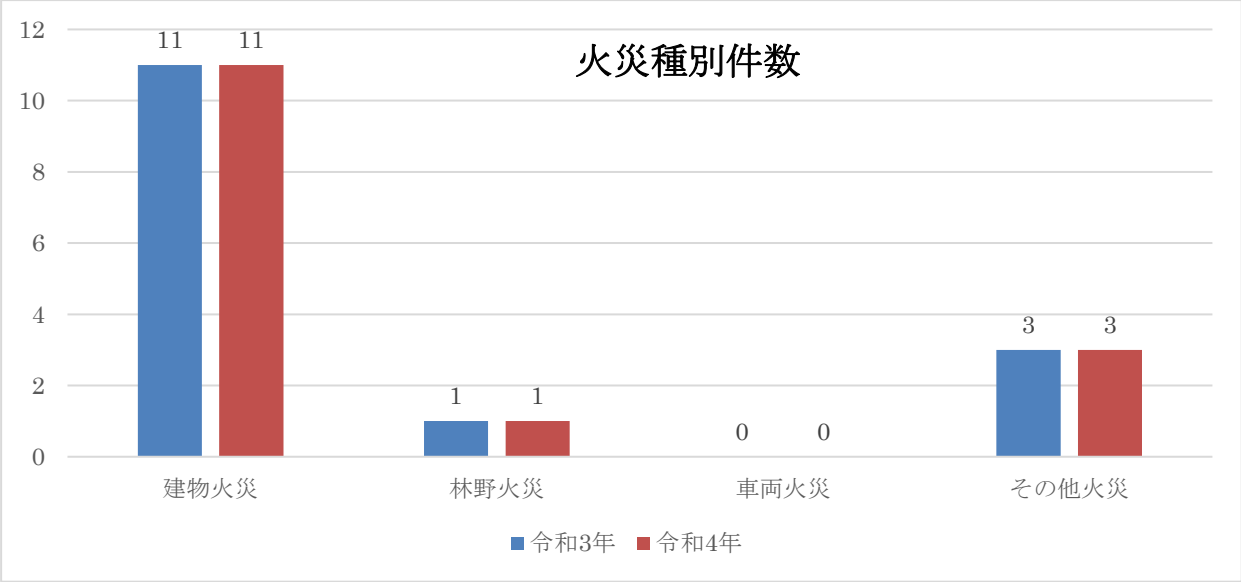
2.　火災概要

１　火災件数

火災件数は１５件で、令和３年中の１５件と同数でした。その内訳は、建物火災が１１件と最も多く全体の約７３％を占めており、次いでその他火災３件、林野火災１件となっており、車両火災は０件となっています。

〔火災種別〕　（単位：件）

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合　計
令和３年	11	1	0	3	15
令和４年	11	1	0	3	15
比　較	±0	±0	±0	±0	±0



２　火災損害額

火災損害額は、４，８５２千円（暫定値）で令和３年中の１８，７０７千円と比較して１３，８５５千円減少しました。（調査中含まず）

３　死者及び負傷者

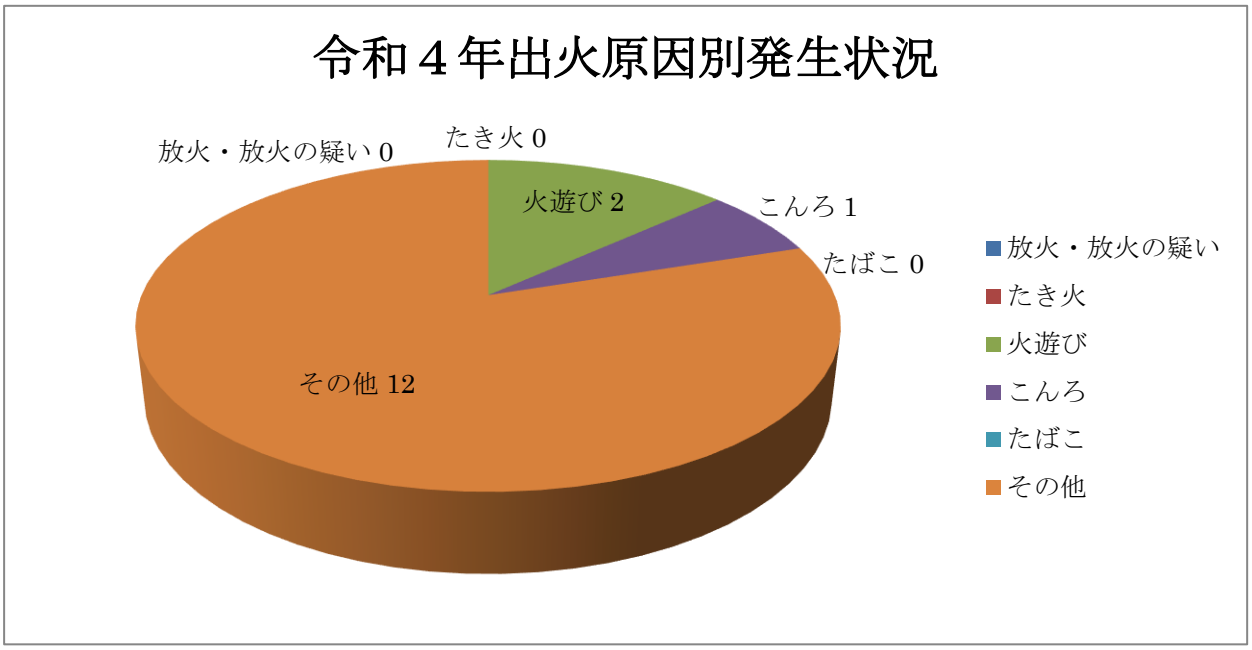
火災による死者は、令和３年同様に０名でした。また、負傷者につきましては、令和３年１名から２名となり１名増加しました。

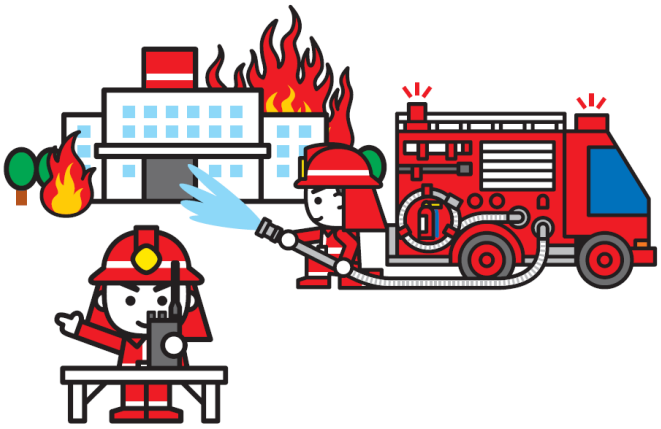
４　主な火災原因

火災の主な原因は、火遊びが２件と最も多く、こんろが１件となっています。

〔出火原因〕　　（単位：件）

	放火・放火の疑い	たき火	火遊び	こんろ	たばこ	その他	合　計
令和３年	2	0	2	0	3	8	15
令和４年	0	0	2	1	0	12	15
比　較	－2	±0	±0	＋1	－3	＋4	±0





3.　救助概要

１　救助件数

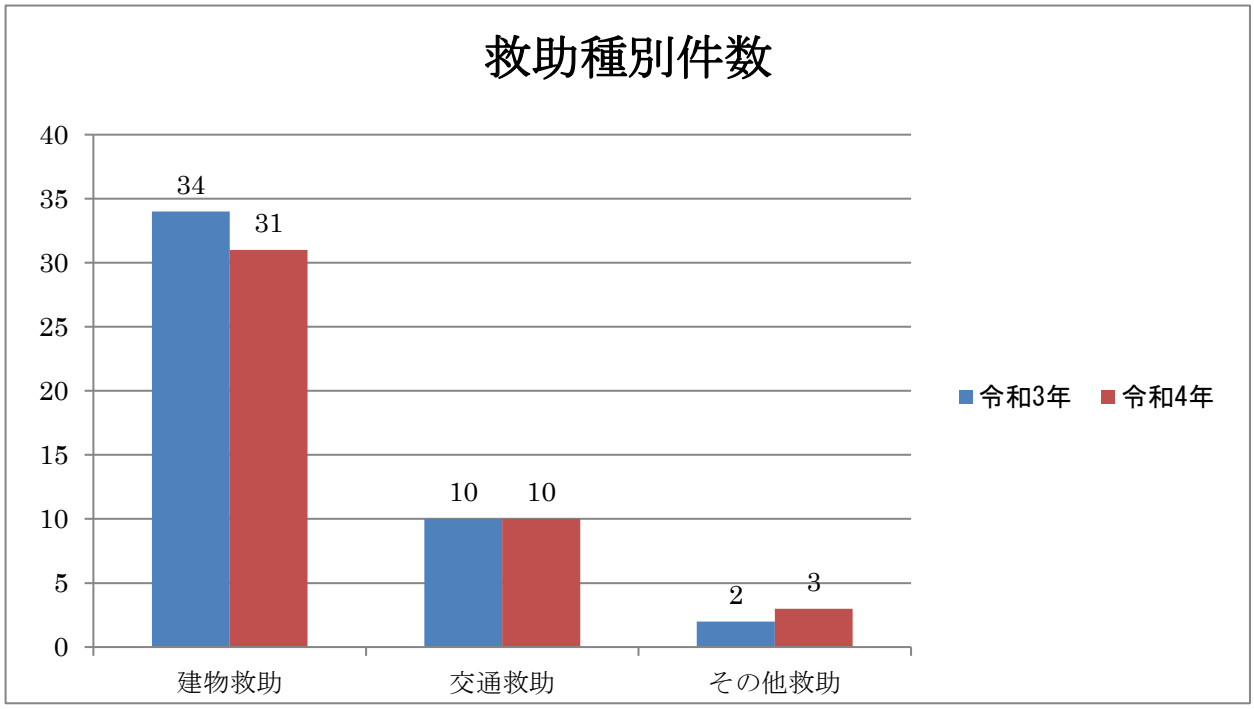
救助件数は４４件で、令和３年中の４６件と比較して２件減少しました。その内訳は、「建物救助」が３１件で最も多く全体の約７０％を占めており、令和３年中と比較して３件減少しています。次いで「交通救助」が１０件、「その他救助」が３件の順となっています。

２　救助人員

救助人員は３３人で、令和３年中と比較して２人増加しました。その内訳は「建物救助」が２５人で最も多く全体の約７６％を占めており、次いで「交通救助」が７人、「その他救助」が１人の順となっています。

〔救助種別及び救助人員〕　　（単位：件、人）

		建物救助	交通救助	その他救助	合　計
令和３年	出動件数	34	10	2	46
	救助人員	21	8	2	31
令和４年	出動件数	31	10	3	44
	救助人員	25	7	1	33
比　較	出動件数	－3	±0	＋1	－2
	救助人員	＋4	－1	－1	＋2



4.　救急概要

１　救急件数

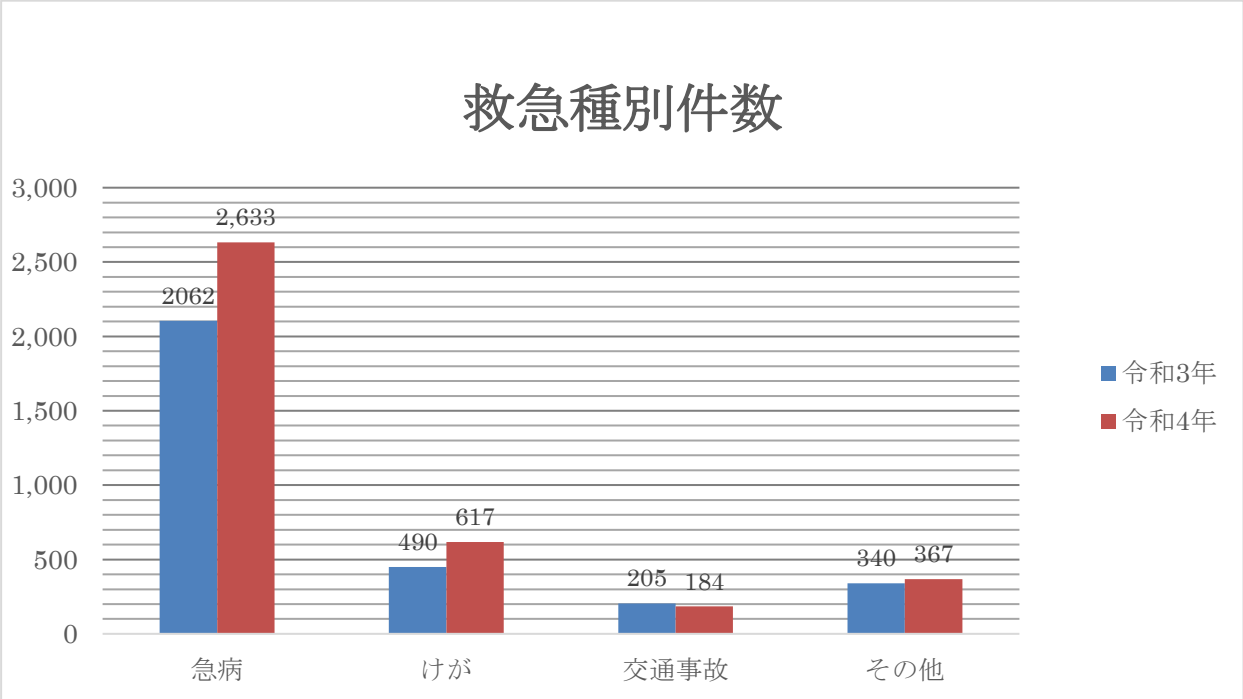
救急件数は３，８０１件で、令和３年中の３，０９７件と比較して７０４件増加しました。（１日平均１０．４件）その内訳は、「急病」が２，６３３件で全体の約６９％を占めており、次いで「けが」が６１７件、「交通事故」が１８４件の順となっています。

２　救急搬送人員

救急車による搬送人員は３，４１７人で、令和３年中の２，８４９人と比較して、５６８人増加しました。

〔救急種別及び搬送人員〕　（単位：件、人）

		急　病	け　が	交通事故	その他	合　計
令和３年	出動件数	2,062	490	205	340	3,097
	搬送人員	1,929	465	186	269	2,849
令和４年	出動件数	2,633	617	184	367	3,801
	搬送人員	2,421	561	166	269	3,417
比　較	出動件数	＋571	+127	－21	+27	+704
	搬送人員	＋492	+96	－20	±0	+568



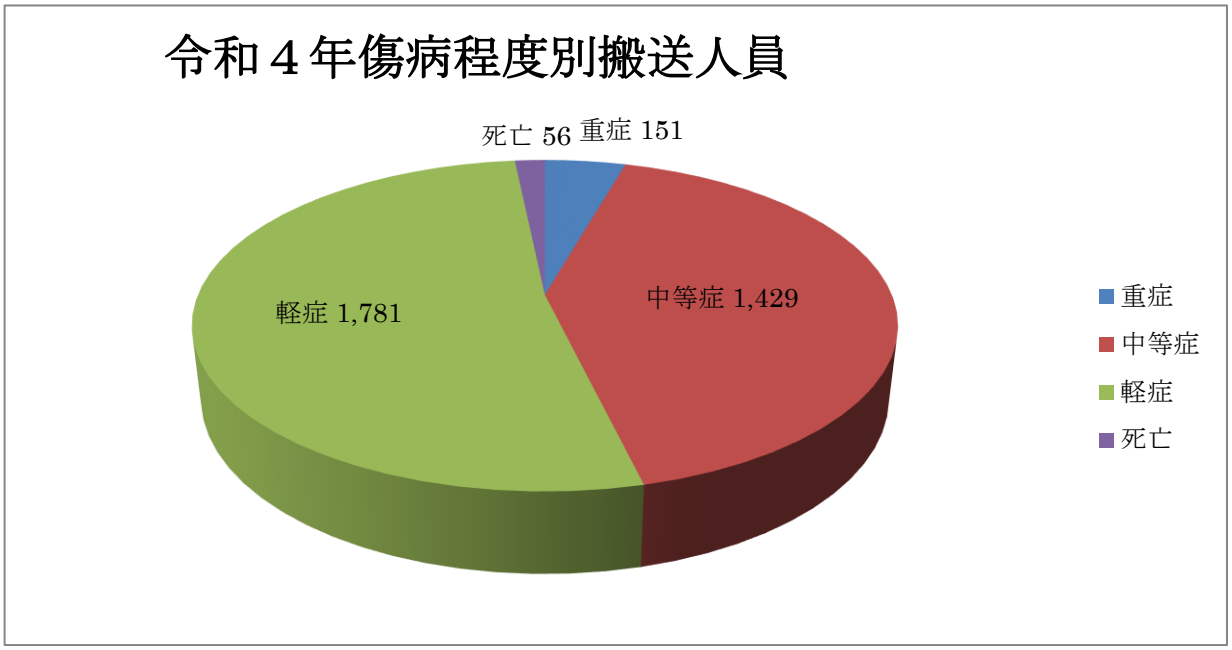
３　傷病程度別搬送人員

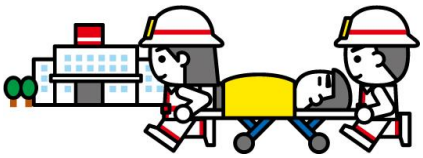
医療機関に搬送された３，４１７人は、令和３年中の２，８４９人と比較して５６８人増加しました。傷病程度別にみると、「軽症」が１，７８１人で全体の約５２％を占めております。

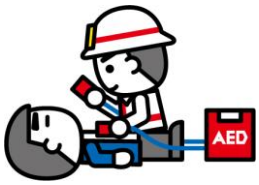
〔傷病程度別搬送人員〕　（単位：人）

	重　症	中等症	軽　症	死　亡	合　計
令和３年	159	1,276	1,371	43	2,849
令和４年	151	1,429	1,781	56	3,417
比　較	－8	+153	+410	+13	+568

死　亡：初診時において、死亡が確認されたもの
重　症：傷病程度が、３週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症：傷病程度が、入院を必要とするもので、重症に至らないもの
軽　症：傷病程度が入院を必要としないもの







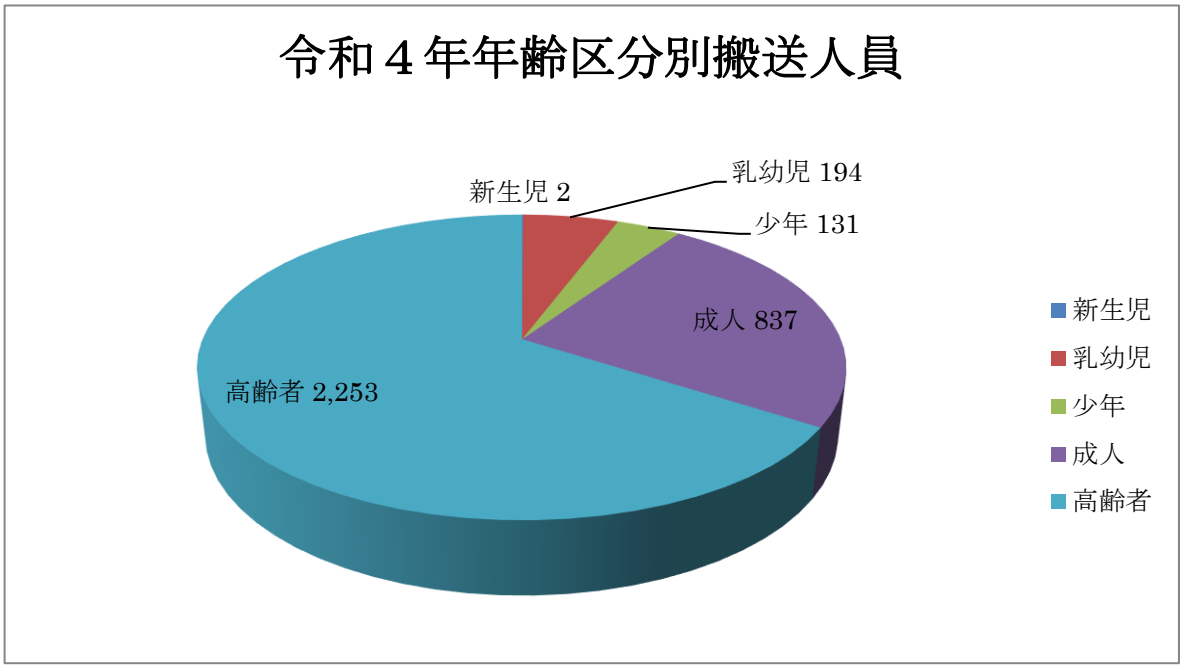
４　年齢区分別搬送人員

年齢区分別の搬送人員は「高齢者」が２，２５３人で全体の約６６％を占めており、令和３年中の１，８５２人と比較して４０１人増加しました。次いで「成人」が８３７人、「乳幼児」が１９４人、「少年」が１３１人の順となっております。

〔年齢区分別別搬送人員〕　（単位：人）

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合　計
令和３年	5	116	98	778	1,852	2,849
令和４年	2	194	131	837	2,253	3,417
比　較	－3	+78	+33	+59	+401	+568

新生児：生後２８日未満の者
乳幼児：生後２８日以上満７歳未満の者
少　年：満７歳以上満１８歳未満の者
成　人：満１８歳以上満６５歳未満の者
高齢者：満６５歳以上の者



５　他市からの救急応援出動件数（12/31 現在）

隣接する消防本部が尾張旭市管内へ応援出動した救急件数は４０件で、令和３年の２９件より１１件増加となりました。

尾張旭市管内へ応援出動した消防本部は、瀬戸市消防本部が３５件、名古屋市消防局が３件、尾三消防本部が２件ありました。

【他市応援依頼件数】　（単位：件）

	瀬戸消防	名古屋消防	尾三消防	その他	合　計
令和３年	24	5	0	0	29
令和４年	35	3	2	0	40
比　較	＋11	－2	＋2	±0	＋11

救急車の適正利用～消防本部からのお願い～

令和４年中の救急出動は、昨年と比較して７０４件増加しました。
市内にある救急車４台全てが同時期に出動する状況もあるため、次の救急車の要請に対しては他市に応援依頼を行うこととなり、救急車の到着時間が遅れてしまうという「非常事態」と呼ぶべき状況が発生しています。

今後も「救急車の適正利用」について皆さまの御理解と御協力をお願いします。

消防活動速報　令和４年（2022）

作成／令和５年１月

尾張旭市消防署企画調整係

TEL　0561-51-0827

E-mail　syobosyo@city.owariasahi.lg.jp